

地域の生活交通手段の確保に向けて

「米田ふれあい号」10月から本格運行開始

市では、畑、廻測、池之内、湖翠苑地区内の住民の方を対象に、自家用車による有償旅客運送を、米田地区との協働により、実施することになりました。そして、8月23日から、運行の確認とPRを兼ねて実証運転に取り組んできました。

はじめとした公共交通機関がなく、自動車を運転できない方にとっては、自由な外出が難しい状況でした。

市は、公共交通機関のない地域の生活交通手段の確保については、重要課題として、これまでから既存交通サービスの充実など、その対応に取り組んできたところです。

「自家用有償運送」の説明を契機に、米田地区の方々と協議を重ね、このたびの運行となりました。

【導入の経緯】
この地区は、路線バスをは

じめとした公共交通機関がなく、自動車を運転できない方にとっては、自由な外出が難しい状況でした。

など大変便利です。運行車両は市の公用車を使用し、地域の方に親しんでいただけるよう、車体には朝光寺の鬼追踊をモチーフにしたイラストを貼りつけています。また、計画の段階から地域の方に参画していただくとともに、運行を米田地区区長会に委託するなど、地域との協働による持続可能な取組を目指しています。

【関係者の声】 利用者の方から・・・

「今までは家族や近所の方に乗せてもらっていましたが、これからは気兼ねなく外出ができ、とても喜んでいきます」
運行に取り組まれる米田地区区長会の下山会長から・・・
「運行には気を遣いますが、安全運転に努め、地域に親しまれるものに育てていきたいと思っています」

【今後の市の取組】

市では、既存公共交通機関の維持確保に努めながら、公



運行を開始した「米田ふれあい号」

【米田地区の取組】

この取組は、公共交通機関のない地域と最寄りの公共交通機関までの接続を基本としませんが、交通事業者との協議により、お年寄りの方等は社地区まで乗車することができず。市民病院やしろショッピングパークBio、市役所などに止まりますので、通院や買い物

天神電鉄小野駅線のダイヤが変更

加東市をはじめ、国、県、小野市の補助により運行を維持してきた路線バス「天神電鉄小野駅線」については、小野市の補助廃止により、今月から当面は、加東市の単独補助により、平日2往復の運行を確保しました。

■平成24年10月以降のダイヤ

天神→電鉄小野駅	電鉄小野駅→天神
6時30分発	16時45分発
17時45分発	18時40分発

※土日祝日は運休です。このほか、東条地域から小野市方面に行くには、天神から神姫バス社営業所を経由するルートもあります。

全国的に公共交通機関を利用される方が減少し、路線の減便や休止が行われていますが、多くの方が利用することにより、これら路線の減便や休止を防ぐことができます。

今一度、公共交通の果たす役割について考え、できることからのご協力をお願いいたします。

公共交通機関がない地域については、それぞれの実情や課題を踏まえ、米田地区での取組など、地域にあった方法を、地域、事業者の方と連携しながら進め、市内の生活交通手段の確保に努めていきます。

問い合わせ

企画部企画政策課(社庁舎)
☎ 43・0388



運行に取り組まれる米田地区区長会のみなさん